

Index: みんなの予防 / フォトニュース / PicUPinfo / お知らせ / 図書館だより / 歴史探訪 / 保健・健康 / こども通信 / みんなの広場 / まちの掲示版 / 日本手話 / みよし野菜おうちレシピ

子宮頸がん予防ワクチン (HPVワクチン) 接種



ワクチンを1回も接種していない場合、必要な3回接種完了までには約6か月かかるため、**8月中**に接種を開始しましょう。接種を希望する人はかかりつけ医と相談の上、早めの接種を検討しましょう。

- ▶ **対象:** 小学校6年生から高校1年生相当の女性
※高校1年生相当(平成22年4月2日~平成23年4月1日)の女性は定期接種(無料接種)の最終年度です。
- ▶ **接種方法:** 三芳町・富士見市・ふじみ野市の実施医療機関(上記コード)に直接予約をして接種。
※二市一町実施医療機関以外で接種を希望する場合は、健康増進課健康推進担当に問い合わせ。



高齢者リハビリ相談

膝・肩・腰などの痛みで悩んでいる人や足腰に不安があり筋力をつけたい人を対象に、理学療法士や作業療法士などが個別に相談にのります(来場が困難な人は上記へ相談ください)。

- ▶ **日時:** ① **7/22**(水) ② **8/31**(月)、**9/15**(火) ③ **10/16**(金)、**11/25**(水)、**12/24**(木)、**R9.1/18**(月)、**2/16**(火)、**3/18**(木)
9:30/10:10/10:50 (各回1人30分)
- ▶ **場所:** ①保健センター ②役場303会議室 ③未来創造拠点施設ルミナみよし(藤久保7237)
- ▶ **対象:** 65歳以上の町在住者
- ▶ **定員:** 各時間1人ずつ
- ▶ **申込み:** 健康増進課窓口か電話で申し込み。



運動・栄養・お口をしっかりケア! 気づいて守る!健康づくり教室

5ヵ月にわたり、運動、栄養、お口と様々な分野の専門職が健康の秘訣を伝える健康づくりの教室。運動が主なので筋力アップにもなります!

- ▶ **日時:** **8/18**(火)、**9/8**(火)、**10/20**(火)、**11/17**(火)、**12/8**(火) 各13:30~15:20

- ▶ **場所:** 竹間沢公民館
- ▶ **対象:** 町内在住の65歳以上の人
- ▶ **定員:** 20人(後期高齢者健康診査でフレイルリスクが高い人優先。優先者には通知を送付。)
- ▶ **申込み:** 7/31(金)までに健康増進課窓口へ電話・FAX・電子申請(上記コード)で①講座名②氏名③生年月日④住所⑤電話番号⑥優先通知の有無を伝えて申し込み。



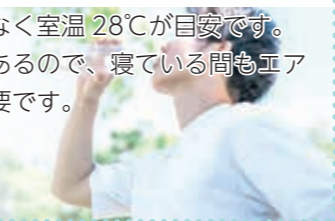
熱中症予防

梅雨明けから要注意!

梅雨明け直後は十分に暑さに慣れていないため、熱中症の発生リスクが高くなります。気温が上がり、外での厳しい暑さの中で活動する機会が多くなる時期ですので、暑さへの対策が欠かせません。熱中症警戒アラートを目安として適切な熱中症予防行動を早め早めに取りましょう!

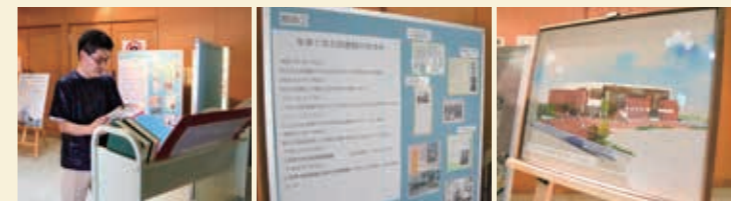
効果的な熱中症対策

- 屋内では室温の目安を28℃にして過ごす
- 屋外では涼しい服装や日傘・帽子を用いること
- 常にこまめな水分補給を行うこと(屋内外共に)
※エアコンの設定温度ではなく室温28℃が目安です。
※夜間も熱中症のリスクがあるので、寝ている間もエアコンを利用することが重要です。



中央図書館 パネル・図書展示

中央図書館では、閉館に伴い5/19(火)から5/31(日)まで、パネルや図書の展示を行いました。図書館の写真や図書館にまつわる記事などを掲示した、三芳町の図書館の歴史を振り返るパネル展示は、盛況のうちに終わりました。



中央図書館 閉館セレモニー

中央図書館の最終開館日である5/31(日)には、閉館セレモニーを実施。町長のスピーチを聞き、多くの人が図書館の思い出を語りあっていました。ご来館いただいた皆様、ありがとうございました。



新しい図書館の開館をお待ちください。

◀セレモニー後にバックヤードツアーを開催。

休館中の

図書館 だより



中央図書館は、ルミナみよしに移設し、9/1(火)にリニューアルオープン予定です。



《新図書館ではティーンズコーナーが新設!》 中学生・高校生向けの本を紹介!

ティーンズ



『ハーベスト』

花里真希 / 著
講談社
2023年4月発行
J913 ㍲

人と話すのが苦手な中学1年生の朔弥は、担任に進められて園芸部に入部した。しかし、部員は一匹狼な西森さんと帰国子女のアズサだけ。性格や悩みもそれぞれ異なる3人が、花も野菜の収穫も楽しめる「ポタジェ」を通して成長する物語。

みよし 歴史 探訪

歴史民俗資料館 ☎ 258-6655

ノゲノイブシ

「門火」「ケツアブリ」とも呼ばれます。7月1日の早朝に、屋敷の入り口付近で麦藁をたく行事です。この日は、どこの家でもノゲを焚くので、白くもやがかかったように煙が広がっていたそうです。この行事が行われるようになった由来として、平安時代の武将、坂上田村麻呂に関連した伝承があります。坂上田村麻呂が、蝦夷征伐へ向かう途中に三芳付近を通りました。その日は大変寒く、季節外れの雪が降っていたそうです。そこで、三芳の人々はノゲを焚いて、一行に暖をもてなしたといわれています。それ以来、7月1日にはブツクルミダング(麦の粉で作った餡まぶしの団子)を食べ、ノゲを焚くようになったということです。多少の変化はあるものの、このような伝説は、新座市野火止付近、富士見市、ふじみ野市大井付近でも確認されています。本来は、虫除け、疫病除けの意味を持つものとして行われたものと考えられますが、麦の生産が減少するとともに行われなくなっていました。



▲【写真】ノゲノイブシ

ソウゴジマイ

「総耕仕舞」と書きます。麦の収穫が終わり、5月から続いた春の作物の耕作が一段落する7月27日から7月29日頃に行われていました。この頃、区長が触れ回って、2~3日農休日とし、収穫したばかりの麦を挽いた小麦粉でうどんを打って食べました。また、このお休みの間に、お嫁さんは旦那が帰ります。新しい小麦粉を実家へのお土産として持って行き、帰りはその粉でまんじゅうを作って婚家へ持ち帰りました。嫁に来た年は、義理の父が浴衣を作りそれを着て帰ったことから、「浴衣の節供」とも呼ばれるそうです。この行事も、麦生産の減少と共に行われなくなりました。

▼ 休日・夜間・小児時間外診療

施設名	休日急患診療所	イムス富士見総合病院 (入院等が必要な救急小児)
所在地	☎ 264-9592 (ふじみ野市駒元町3-1-20)	☎ 251-3060 (富士見市鶴馬1967-1)
診療日	日曜・祝日・年末年始	月・木曜
診療時間	9:00~12:00/13:00~16:00/19:00~21:00	月・木が平日▶ 18:00~翌8:00/ 月・木が祝日▶ 8:00~翌8:00

▼ 救急病院

イムス三芳総合病院	ふじみの救急病院	三芳野病院
☎ 258-2323 (藤久保974-3)	☎ 274-7666 (北永井997-5)	☎ 259-3333 (北永井890-6)

24 困ったときの医療機関案内 ▶ 埼玉県救急電話 ☎ # 7119 (IP電話は 048-824-4199)
24 時間体制で受付中 ▶ 埼玉県 AI 救急相談 (チャット形式。右記二次元コードから) >>>

